

## 第 13 回 再生普及行動計画ワーキンググループ

日時：平成 20 年 4 月 24 日（木） 18:30～20:00

場所：釧路地方合同庁舎 4 階 共用第三会議室

### ----- 議事次第 -----

1. 開 会
2. 議 事
  - 1) ワンダグリンド・プロジェクト 2007 の報告について
  - 2) ワンダグリンド・プロジェクト 2008 の応募状況について
  - 3) 今後の予定について（案）
3. その他
4. 閉 会

### ----- 配布資料一覧 -----

- ・ 当議事次第
- ・ 再生普及行動計画ワーキンググループ名簿
- ・ 第 13 回再生普及行動計画ワーキンググループ出席者名簿
- ・ 資料 1-1 ワンダグリンド・プロジェクト 2007 活動報告一覧
- ・ 資料 1-2 ワンダグリンド・プロジェクト 2007 報告書作成概要（案）
- ・ 資料 2 ワンダグリンド・プロジェクト 2008 応募状況一覧
- ・ 資料 3-1 2008 年度の新たな取組みについて（案）
- ・ 資料 3-2 今後の予定（案）

釧路湿原自然再生協議会再生普及小委員会  
再生普及行動計画ワーキンググループ名簿

<個人>

江崎 秀雄 (森の学習塾代表)  
金子 正美 (酪農学園大学環境システム学部教授)  
清水 信彦  
新庄 久志 (釧路国際ウェットランドセンター)  
永瀬 知志

<団体>

NPO 法人釧路湿原やちの会  
釧路湿原国立公園ボランティアレンジャーの会  
釧路市民活動センターわっと  
釧路シャケの会  
釧路武佐の森の会  
ボランティアネットワーク・チャレンジ隊

<関係市町村>

釧路市 釧路町 標茶町 鶴居村 弟子屈町

<関係行政機関>

国土交通省北海道開発局釧路開発建設部  
林野庁北海道森林管理局釧路湿原森林環境保全ふれあいセンター  
北海道釧路支庁  
北海道教育庁釧路教育局

<ワーキンググループ事務局>

環境省北海道地方環境事務所 釧路自然環境事務所  
財団法人北海道環境財団

## 第 13 回再生普及行動計画ワーキンググループ 出席者名簿

### < 委 員 > (出席者 50 音順)

氏 名	所 属
大西 英一	釧路武佐の森の会
近藤 一燈美	釧路湿原国立公園ボランティアレンジャーの会
酒田 浩之	ボランティアネットワーク チャレンジ隊
佐竹 直子	ボランティアネットワーク チャレンジ隊
清水 信彦	(個人)
新庄 久志	釧路国際ウェットランドセンター
永瀬 知志	(個人)
成ヶ澤 茂	釧路市市民活動センターわっと

### < 再生普及小委員会 委員 >

氏 名	所 属
高橋 忠一	北海道教育大学釧路校 准教授

### < 関係市町村 >

氏 名	所 属
菊池 義勝	釧路市環境政策課 湿地保全主幹

### < 関係行政機関 >

機 関 名	出席者氏名
国土交通省北海道開発局釧路開発建設部治水課	山村 諭 能代 靖己 中津 隆文
林野庁北海道森林管理局 釧路湿原森林環境保全ふれあいセンター	中島 章文 白藤 末人
北海道釧路支庁地域政策部環境生活課	大野 美枝

### < ワーキンググループ事務局 >

機 関 名	出席者氏名
環境省北海道地方環境事務所 釧路自然環境事務所所長 国立公園・保全整備課課長補佐 釧路湿原自然保護官	北沢 克巳 川淵 義昭 露木 歩美
財団法人北海道環境財団 企画事業課課長	久保田 学 内田 しのぶ





## ワンダグリンド・プロジェクト 2007 報告書作成概要（案）

アンダーラインの部分について、変更・提案あり

### 報告書作成のねらい

釧路湿原自然再生普及行動計画(以下、「再生普及行動計画」と略)の2007年度具体的取組みの状況を記録する。

再生普及行動計画の活動状況を、圏域内外に広く発信し、釧路湿原の保全・再生に向けた多様な活動や参加の機会を多くの人に知ってもらう。

新たな取組みを呼びかけ、誘発していくための材料とする。

### 作成方針

再生普及行動計画や具体的取組みが何であるのか分かりやすく説明する。

具体的取組みの実施者作成の報告書を基本とし、個々の取組みを統一した書式で編集する。

関係者のみならず、さまざまな立場の人に手にとっていただけるよう、デザイン・装丁等に配慮する。

印刷物としての配布だけでなく、再生普及行動計画WG通信等のウェブサイトでも公開する。

### 仕様

装丁 / A4判、カラー表紙、本文モノクロ印刷、約80ページ

印刷部数 / 1200部

発行者 / 釧路湿原自然再生協議会再生普及小委員会

発行日 / 2008年 6月初め(6月5日環がまち釧路フェスタにてお披露目予定)

### 配布に関して

釧路湿原自然再生協議会構成員・事務局機関 / 公共施設、機関 / 釧路管内教育機関(小・中・高・大・専・養護) / WG事務局より随時配布 / 郵送希望者は、切手つき返信用封筒を事務局宛に郵送 配布 / 釧路市市民活動センターわっとにて希望者に配布 / ホームページ「再生普及行動計画ワーキンググループ通信」で閲覧可能とする / 北海道洞爺湖サミットに関わる各種イベント時に配布

### 構成・目次

#### はじめに

発行者代表(再生普及小委員会委員長)名で挨拶文を記載

#### 1 ワンダグリンド・プロジェクトとは

再生普及行動計画作成の趣旨、経緯、進行管理の仕組み等の概略を記述

再生普及行動計画の10項目概要をパンフレット記載レベルで記述

#### 2 2007年度具体的取組み(ワンダグリンド・プロジェクト2007)の経緯

募集からとりまとめの経緯を記述

#### 3 2007年度具体的取組み(ワンダグリンド・プロジェクト2007)取組み一覧

再生普及行動計画の10分類別一覧表を掲載

4 2007年度具体的取組み(ワンダグリンド・プロジェクト2007)の報告

各実施者作成の報告を、統一した書式(サンプル1)により編集

各団体の連絡先は個票には記載せず、問い合わせ先として事務局を冒頭に記載

参 考

釧路湿原自然再生協議会の構成と

再生普及小委員会名簿、再生普及行動計画WG名簿を記載

索引(団体・個人別取組み一覧とそのページナンバー)

ワンダグリンド・プロジェクト宣伝の様子を紹介するページ(サンプル2)

主催者

**釧路国際ウェットランドセンター (KIWC)**

**ワンダリングプロジェクト2007**

釧路地方を拠点に、地元根ざした湿地保全のための普及啓発と国際協力をすすめている、地域ネットワークです。事務局は釧路市役所内にあり、関係自治体や省庁、教育機関などで構成されています。

**取組み概要**

ホームページ・ニュースレター等による釧路湿原の情報を発信します(日本語・英語)。

**取組みのねらい**

- ① みんなの湿原への関係を高める
2. 湿原と人との関わり方の歴史と今を知る
3. 自然再生の仕組みや動きを広める
4. 自然再生について情報公開と合意形成を進める
5. 自然再生に地域・市民の参加を促す
6. 自然再生への幅広い支援・協力を求める
7. 湿原と継続的に関わる学びの機会をつくる
8. 国立公園の新しい利用形態を創り出す
9. 湿原を訪れる人へのサービスを改善する
10. 人・施設・地域のネットワークをつくる

**独自のねらい**

湿地環境を産業に活用する方法や、伝統技術などのさまざまな技術を湿地の再生に取り入れるアイデアなどを紹介し、釧路地域の湿地保全について考えるきっかけづくりとする。

**実施の様子**

ホームページによる情報発信(定期更新:4回/年、日本語・英語)

- 当センターの活動報告(湿地保全に関する講演・研修・観察会などの事業)
- ラムサール条約に関する情報
- 国内ラムサール登録湿地に関する情報
- 技術委員会等の活動紹介と成果報告
- 訪訪湿地の紹介と交流活動に関する情報
- 活動報告書など出版書籍の紹介

平成20年3月末までのアクセス数は約37000(平成12年開設)

ニュースレターの発行(2008年3月発行 日本語・英語各2000部)

おもな配布先:

- |      |               |                         |
|------|---------------|-------------------------|
| 日本語版 | 全国の自然観察・展示施設  | 湿地保全関連研究機関              |
|      | 環境保全団体や個人     | 図書館                     |
|      | ラムサール湿地関連自治体  | JICA関係機関・研修講師・プログラム受託団体 |
|      | 湿地保全関連省庁      | 大学・高校など教育機関             |
|      | 2007年度実施事業参加者 | など                      |

英語版 ラムサール条約など環境保全に関する国際条約の関連機関  
国連機関

- JICA国内・海外事務所
- 国際自然保護団体
- 訪訪湿地の関係団体
- 湿地保全のための国際ネットワーク関係機関
- 過去の研修(JICA等)、国際会議の参加者 など



ホームページ



ニュースレター

**主催者の感想**

◆取組みのねらい

①について:今年度もホームページを通じてのコンタクトが多かった。特に釧路湿原、ラムサール条約、エコツアー等について、研究中の学生、本州の旅行業者からの照会が目立った。また、第10回ラムサール条約締約国会議が2008年に韓国で開催される関係で、海外、特に韓国からの照会が英文ホームページを通じて多く寄せられた。



# ワンダグリーンダプロジェクトは このように紹介されます！！



報告書



ステージ（イベント）



ホームページ

コミュニティFM



ブース（イベント）



情報誌（各種）



メールニュース



パネル（イベント）

**釧路湿原を守り・育て・楽しむ活動を  
「している方」「その予定のある方」ご連絡下さい**

**☆ 随時受付中 ☆**

再生普及行動計画ワーキンググループ事務局

【TEL】0154-56-4444 【FAX】0154-56-2267

【E-Mail】fukyu@kushiro-wetland.jp

【URL】http://www.kushiro-wetland.jp



釧路湿原国立公園連絡協議会	21	「釧路湿原こどもレンジャー」事業を実施します																		
	22	湿原に関する情報を毎月紙面で発行します																		
	23	温根内ビジターセンターと塘路エコミュージアムセンターで行われるプログラムの情報共有と施設間の連携を図ります																		
	24	ホームページによる釧路湿原の情報を発信します																		http://city.hokkai.or.jp/ kkr946
釧路湿原全国車いすマラソン大会実行委員会	25	第23回釧路湿原全国車いすマラソン大会を実施します	8月31日																	
釧路湿原MTBクラブ	26	釧路湿原周辺の丘陵地を主なフィールドとしてガイドツアー：7,8,9,10,11月(月1回公募で有料) / クラブツーリング：毎月2回程度・湿原1周100km(年1回)																		エコロジーで、環境にやさしい乗り物であるMTBの普及と、釧路湿原国立公園の新しい利用形態の発信、利用の促進、自然の恩恵啓蒙に貢献することを目的としています。アイドリング・ストップを実行しています
釧路湿原マラソン実行委員会	27	第36回釧路湿原マラソン大会の開催	7月27日																	大会概要(案)を添付いたします
釧路シャケの会	28	シャケの稚魚の里親募集と放流式の実施。	里親募集1月、放流式5月5日																	今年はシャケの里親自慢大会を予定。川の日ワークショップにも参加します
	29	岩保木水門フォーラムの開催	10月上旬																	
釧路ボタニカルアートの会	30	地元の植物やその周辺の環境を観察し学び、希少な植物の姿を細密画として描き、作品を環境保護活動に役立てます(今年はぬり絵の下絵を提供します)	随時																	湿原を歩きながら、植物の解説をすりょうな活動にはぜひお誘いください。又、私たちの作品をパンフレット等にお使いください
国土交通省北海道開発局釧路開発建設部	31	「釧路湿原川レンジャー」を募集し活動を行います	観察活動：通年 学習会：年4回程度																	普段の暮らしの中で釧路湿原や釧路川を観察し気づいたことを報告する活動や、専門家を招いた現地観察会・学習会を行って尾あります。平成12年より実施しており、平成19年度は109名が登録しました
(財)釧路市民文化振興財団	32	「湿原 ほたる講座」において、親子でほたるについて学習した後、温根内にて観察を行います	7月22日																	
	33	「いきいき女性講座」において、釧路湿原の動植物の生態系や湿原の果たす役割などを学習します	7月11日																	
	34	「まなぼっとお達者塾『いきがい新発見』」において、ノロコ号に乗って釧路湿原のすばらしさを実感し、自然の大切さを再認識します	6月12日																	
	35	「まなぼっとお達者塾」において、子ども達に自然体験をしてもらいます	8月23日																	
	36	「くしろ市民大学」開講します	6～10月の間に1回																	
(財)日本野鳥の会鶴居・伊藤タンチョウサンクチュアリ	37	施設来訪者へのタンチョウの解説・ミニスライドショーを実施します	10～3月																	
	38	タンチョウティーチャーズガイド講習会を実施します	未定																	
	39	自然保護を目的とする学生組織「F・Aネットワーク」のワークキャンプを受入れます	年2回(夏・冬)																	
笹本由文	40	湿原環境保全とCO2削減(気持ちだけ)のために、私有山林に自然林を育てます 大木に育つように株立ち樹木の枝きり my木道の拡幅改修	5月、8月																	
さとぼん(ハンドルネーム)	41	ホームページによる釧路湿原の魅力や歩き方に関する情報発信	適宜更新																	http://homepage.mac.com/pocarisweat/shitsugen 私以外の方でも、湿原歩きの魅力を書いていた方がいらっしゃれば、是非サイトにたくさんの方の声や体験を掲載していきたいと思います。横浜に住んでいるためタイムリーな情報発信が行いにくい状況ですので、是非地元の方からのタイムリーな情報をお寄せいただければと思います

シルバークロシティときわ台ヒルズ	42	「自然再生」文化講座の開催																		
	43	海外の老人ホームとの相互交流を通じて国際親善に寄与する																		
太平洋総合コンサルタント(株)	44	体験型の環境教育の実施	10月～11月																	
10ko10ko(とことこ:ハンドルネーム)	45	毎週日曜朝、温根内木道親子散歩の様子をブログで発信中	毎週日曜早朝																	http://43tai-ehon8.jugem.jp/
日本ボーイスカウト北海道連盟釧路地区	46	2008ピーパーまつり&カブラリー-inくしろ(北海道大会)の開催	8月1日～3日																	北海道各地から小1～小5まで400名以上集まります。湿原の動植物を観察しスケッチしたり特長を記録させたりします。専門的な知識を要しますのでガイドなどの手伝いをいただくとありがたいです。温根内木道、ツルセンターで観察など計画しています
ボランティアネットワークチャレンジ隊	47	「じゅう箱のすみ」を媒体に、湿原再生の取り組みやそこに関わる人々の姿をわかりやすく楽しく市民に発信します	年4回発行(予定)																	
	48	釧路湿原“音”探検を開催します	6月(予定)																	
無国籍雑貨 島屋	49	釧路湿原に生息する希少な生物をモチーフに、アイヌ模様の伝統的パターンを使いデザインしたオリジナル商品を製作・販売します。(売上げの一部は自然再生活動へ役立たせることも検討)	4月より第1弾販売開始。毎月1～2の新作デザイン発表予定																	島屋はエスニック雑貨や衣料、アクセサリーを販売する一方で、ストリートチルドレンへの救済活動への支援や地雷廃絶活動への支援、アフリカに森をつくるNGOへの協力などを行っています。これに加え地元自然再生への取り組みにも少しでも協力できればと考えます
山崎山林森林セラピー推進会	50	釧路湿原国立公園内の森林セラピー基地「山崎山林」をステージに、さまざまなテーマを企画し、月1回のペースでツアーを開催します	毎月第4土曜日(年12回)																	コラボレーションしていただける方を募集しております。広報紙・HP・メールでの宣伝掲載を今年もよろしくお願ひします
リンク・リング	51	野生生物へのエサやりの是非の説明を通して、人と動物・自然のかかわりについて考える機会をもってもらいます	随時																	

環境省釧路自然環境事務所	52	自然再生事業を行っている達古武地区にて、市民体験調査会を行います	夏～冬に1～2回																		
国土交通省北海道開発局釧路開発建設部	53	「くしろ環境スクール」終了生による「釧路自然再生解説員」活動と学習会を行います	解説員の活動:4～9月 学習会:年2回																	平成15,16年度に市民対象の講座「くしろ環境スクール」を開催し、講座を終了された方の中から有志を募り、平成16年度より、釧路町細岡展望台にて観光客を対象としたボランティア解説を行っています	
林野庁北海道森林管理局釧路湿原森林環境保全ふれあいセンター	54	「雷別どんぐり倶楽部」で森林再生の各種事業に市民参加を呼びかけます	雷別自然再生学習会:6、10月/苗木育成(タネ採り6,9月、タネ蒔き6,10月/移植6月)/「どんぐり教室」開催(炭焼き12月、冬芽観察2月)/「お庭で苗木育成制度」への通年参加																	NPOや学校等からの要請を受けて森林環境教育に関する支援を行っています。例えば森林環境教育の一環として、根釧西部森林管理書と連携した小中学校への「出前森林教室」、小中学校の先生方を対象とした「ふれあい講座」などを実施しています	
	55	自然再生事業地で「雷別自然再生学習会」の実施	6月、10月																		
	56	「お庭で苗木育成制度」の実施	1コンテナ(24本入り)を9月ごろから自宅で育成																		

35団体・個人/56取組み

39 13 15 3 28 12 27 10 4 21

(2007年度は37団体/63取組み)

団体数について:新規4、継続31、未応募6



## 2008 年度の新たな取組みについて（案）

本年度、WG 事務局として以下について、新たな取組みを予定

### 1 フィールドワークショップの実施

目的	<p>湿原に対する新たな視点・気づきの共有</p> <p>ワンダグリンド・プロジェクト参加団体同士のヨコの連携</p> <p>自然再生情報の共有</p> <p>ワンダグリンド・プロジェクト応募の魅力のひとつとして</p>
概要	<p>ワンダグリンド・プロジェクト2008 応募者、再生普及行動計画 WG メンバー及び再生普及小委員会委員を対象として研修会を実施。その中で得られた新しい気づきを、参加者が各々の活動の中で活かしていくことを期待する。</p>

### 2 ワンダグリンド・プロジェクト推進サポーターの募集

目的	<p>まだワンダグリンド・プロジェクトに参加してもらっていない分野等への周知と呼びかけ(ワンダグリンド・プロジェクトの周知強化)</p> <p>自然再生の一層の普及</p>
概要	<p>各種施設や店舗などにおいて、ワンダグリンド・プロジェクトをはじめ自然再生の各種資料配布やポスター掲示など協力してもらいたい事柄等を一覧にしたチラシを作成。チラシに申込み欄を設け、協力してくれる事項を WG 事務局へ申し込んでもらう。チラシの配布については、各種イベント時、各種施設等への配布など、機会あるごとに行う(皆さんのご協力をお願いします)。サポーター登録してくれた方は、ホームページと報告書で名称を紹介する。</p>

### 3 情報発信の拡充

目的	ワンダグリンド・プロジェクトをはじめ自然再生の一層の普及
概要	<p>ワンダグリンド・プロジェクトに関する広報キャンペーンを実施。例)毎週末のイベント情報を通常より詳細に紹介 / メールニュース登録者増に力を入れる / サポーター募集の広報に力を入れる など</p> <p>メールニュース『ワンダグリンド ニュース』と FM くしろ「ゆうゆう釧路湿原塾」の中で、自然再生に関わる多様な人の話題を発信する(例:各小委員会委員長、ワンダグリンド・プロジェクト応募者など)。</p>

今後の予定（案）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
予 定	WG開催		再生普及小委員会開催 ワンダグリダ 2008公開	ワンダグリダ 2007報告書完成			知名度アンケート実施 フィールドワーク ショップ（予定）	WG開催	再生普及小委員会開催	フィールドワーク ショップ（予定）		ワンダグリダ 09募集開始	ワンダグリダ 09応募〆切
				環がまち釧路 フェスタ くしろエコフェ ア2008	洞爺湖サミット			ラムサール会議 （韓国）					
情報 発信	FM くしろ	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	市町村広報誌	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	じゅう箱のシミ			1						1			1
	ワンダグリダ ニュース発信	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	ホームページ 更新	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
ワンダグリダ 2008（予定）	湿原道路清掃（や ちの会）	シャケ稚魚放流 （シャケの会）	音探検（チャレ 隊）	湿原マラソン（実 行委員会）	ホーイカ北海道大 会（ボーイスカウ ト）	雷別苗木育成（ふ れあいセンター）	雷別どんぐりクラブ （ふれあいセンター）	雷別学習会（ふれ あいセンター）		サケ稚魚里親募集 （シャケの会）	達古武学習会（環 境省）		
	カヌー清掃（フィ ッシャーズ協会）	川レンジャー募集 （開建）	湿原コンサート （まりんさん）	が'い'（岩間さん）	車椅子マラソン （実行委員会）		カヌー清掃（フィ ッシャーズ協会）	自然再生学習会 （ときわ台ヒズ）		自然再生学習会 （ときわ台ヒズ）	自然再生学習会 （ときわ台ヒズ）	自然再生学習会 （ときわ台ヒズ）	
		枝打ち（笹本さ ん）	雷別学習会（ふれ あいセンター）	ほたる講座（まな ぼっと）	達古武学習会（環 境省）		環境授業（太平洋 コンサル）	環境授業（太平洋 コンサル）					
			いきがい塾（まな ぼっと）	女性講座（まな ぼっと）	木道工事（笹本さ ん）		どんぐり記念日（ト ラストサリ）						
				グッズ寄付（日専 連）	ワークキャンプ（サ ンクチュアリ）		ポスト展（KIWC）	豪訪問団（KIWC）		エコツアー （KIWC）	ワークキャンプ（サ ンクチュアリ）		
				子どもレンジャー （公園連協）	子ども体験隊（ま なぼっと）		子どもレンジャー （公園連協）				子どもレンジャー （公園連協）		
	温根内清掃 / 修学旅行・研修受け入れ（やちの会）												
	MTBツアー（MTBクラブ）												
	くしろ環境スクール自然再生解説（開建）						スライドショーと解説（サンクチュアリ）						
	森林セラピー（山崎山林）												
	親子で温根内（10ko10ko）												
	ゆうゆう釧路湿原塾（FMくしろ）												
	随時：タンチョウ折鶴（伊勢さん）、夢工房、トラストサリ釧路、折り紙動物展示（賀勢さん）、ボタニカルアートの会、タンチョウTG（サンクチュアリ）、さとぼん、島屋、リンク・リング												

ワンダグリダ ニュースについて

イベント情報の他に、多様な人の話を掲載したり、ワンダグリダ・プロジェクト新規応募者の自己紹介やPRなどの機会としても活用

例）各小委員会委員長から、小委員会の活動状況等やワンダグリダ・プロジェクト新規応募者のPR等

環がまち釧路フェスタ（6月5日）、くしろエコフェア2008（6月8、9日）において自然再生事業パネルやワンダグリダ・プロジェクトを紹介予定